

掲示板

- I. 平成29年度 夏期スクーリングの開講について
- II. 「教職実践演習（高）」の開講について
- III. 平成29年度 単位修得試験日程について
- IV. 平成29年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について
- V. 学費の分納について（前期生対象）
- VI. 単位修得試験（8月試験）の実施について
- VII. 卒業生だより
- VIII. 行事予定（6月・7月）

注意事項

1. 事務取扱時間
月～土曜日 9：00～17：00
日曜日 休み（ただし、単位修得試験やスクーリング等の
行事のある場合は、その行事の開催時間に応じて
事務の取扱いを行います。）
2. 電子メールの宛先
csoffice@ogu.ac.jp
電子メール（書面も含む）での問い合わせには、必ず学籍番号
と氏名を明記してください。
3. ホームページによるシラバスの閲覧について
各授業科目のシラバスはホームページよりご確認ください。
なお、ホームページを閲覧できる環境のない方は、通信教育部
事務室にお問い合わせください。
ホームページアドレス
<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>

掲 示 板

I. 平成29年度 夏期スクーリングの開講について

1. 日程および時間割

【第Ⅰ期】 (開講期間：平成29年7月29日～8月4日)

講義期間	I	II	III	IV
		9:00～10:45	11:00～12:45	13:30～15:15
7月29日(土)	情報処理演習(本多 剛)		保 険 論 I (野口 清司)	
7月30日(日)	英 語 I (近松 明彦)		商 業 学 I (木村 貞子)	
7月31日(月)	ド イ ツ 語 I (志田 章)		国際貿易論 I (金川 徹)	
8月1日(火)	入 門 簿 記 (船本 修三)		基本会計学 I (田中 延幸)	
8月2日(水)	(旧)簿記原理A I		(旧)会計学 I	
8月3日(木)	商 業 史 I (水原 紹)			
	原価計算論 I (古田 隆紀)			
8月4日(金)	予 備 日			

- (注) 1. 7月29日(土) 9:00～9:45 オリエンテーション
 2. 8月3日(木) II・IV講時にスクーリング単位修得試験を実施する。

【第Ⅱ期】 (開講期間：平成29年8月5日～8月11日)

講義期間	I	II	III	IV
		9:00～10:45	11:00～12:45	13:30～15:15
8月5日(土)	英 語 II (東條 良次)		スポーツ実習 (山内 武)	
8月6日(日)	ド イ ツ 語 II (神谷 善弘)		基本経済論 (松村 隆)	
8月7日(月)	財 務 諸 表 論 I (多田 正幸)		(旧)基本経済学 I	
8月8日(火)	中 級 簿 記 (後藤 晃範)		マーケティング論 I (金丸 輝康)	
8月9日(水)	(旧)簿記原理A II		基本会計学 II (郡司 健)	
8月10日(木)	商 業 史 II (武井 章弘)		(旧)会計学 II	
			経 営 学 I (池田 広男)	
8月11日(金・祝)	予 備 日			

- (注) 8月10日(木) II・IV講時にスクーリング単位修得試験を実施する。

掲 示 板

2. スクーリング単位修得試験受験の要件

各科目の授業時間数は1日連続2講時、6日間で12講時です。スクーリング単位修得試験の受験には事前にレポート課題を作成し、スクーリング初日に提出したうえで全講時の3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席があると受験できません。

3. スクーリング受講手続について

- (1) スクーリング参加申込書等、必要書類を大学に送付する。〔機関誌平成29年5月号巻末の「2017スクーリングの手引き」をご覧ください。〕

↓

- (2) 大学から個々の受講料等の金額を印字した「納付書」を送付

↓

- (3) 送付された納付書により銀行窓口で振込
納付書の「振込証明書」部分を大学に送付する。

4. 受講申込受付期間

平成29年6月12日(月)～6月23日(金) 必着

5. 参加費用

- (1) 参加手数料 1,500円
- (2) 受講料 1科目(2単位) 4,000円

6. 振込証明書提出期日

平成29年7月3日(月)

掲 示 板

Ⅱ. 「教職実践演習（高）」の開講について

「教職実践演習（高）」を次のとおり開講します。受講予定の方は所定の手続を行ってください。

1. 開講期間

平成29年7月29日(土)～平成29年8月3日(木)【最終日8月3日(木)は
予備日】

2. 講義時間と担当者

開講日	曜日	講 時	担当者
平成29年7月29日	土	1 9:00～10:45	井上 専
		2 11:00～12:45	安田 一之
平成29年7月30日	日	1 9:00～10:45	井上 専
		2 11:00～12:45	安田 一之
		3 13:30～15:15	安田 一之
平成29年7月31日	月	1 9:00～10:45	三輪 信哉
		2 11:00～12:45	谷口 高士
		3 13:30～15:15	谷口 高士
平成29年8月1日	火	1 9:00～10:45	三輪 信哉
		2 11:00～12:45	根無 喜一
		3 13:30～15:15	根無 喜一
平成29年8月2日	水	1 9:00～10:45	井上 専
		2 11:00～12:45	安田 一之

3. 受講申込手続

便箋等に「教職実践演習（高）」の受講希望の旨を記入し、返信用封筒（宛名明記・82円切手貼付）を同封して通信教育部まで「受講申込書」を請求してください。

「受講申込書」到着後、必要事項を記入し、「履修カルテ（完成済）」を同封の上、通信教育部まで返送し受講申込手続を完了してください。

なお、「教職実践演習（高）受講申込書」は、ホームページからもダウンロード

掲 示 板

ンロードできます。

また、「履修カルテ（完成済）」が同封されていない受講申込は、受理できませんので注意してください。

4. 受講申込締切日

平成29年7月3日(月)必着

Ⅲ. 平成29年度 単位修得試験日程について

平成29年度の単位修得試験日程は下表のとおりです。テキスト学習（通信授業）の単位修得試験は年計4回行われます。

試 験 日	レポート提出締切日	受験申込受付期間
H29.6.18(日)	H29.5.8(月)	H29.5.22(月)～H29.5.26(金)
H29.8.20(日)	H29.7.10(月)	H29.7.24(月)～H29.7.28(金)
H29.11.26(日)	H29.10.23(月)	H29.11.6(月)～H29.11.10(金)
H30.2.4(日)	H30.1.6(土)	H30.1.15(月)～H30.1.19(金)

㊦履修について

「単位修得試験問題範囲番号表」に㊦とある授業科目は、平成29年度からテキストを変更したため、平成28年度および平成28年度以前の履修登録者を対象に1年間を限度として、平成28年度レポート課題によるレポート提出および平成28年度単位修得試験問題による受験を認めています。「㊦履修」はこの制度のことを表わします。

掲 示 板

Ⅳ. 平成29年度 リポート提出日と添削後の返送予定 (目安) について

本学通信教育のリポートは第4種郵便の適用を受けており、通常(第1種)の郵便よりも到着するまでに日数を要します。また、土日祝日等における郵便配達の場合、リポート到着が遅れる場合も多々あります。

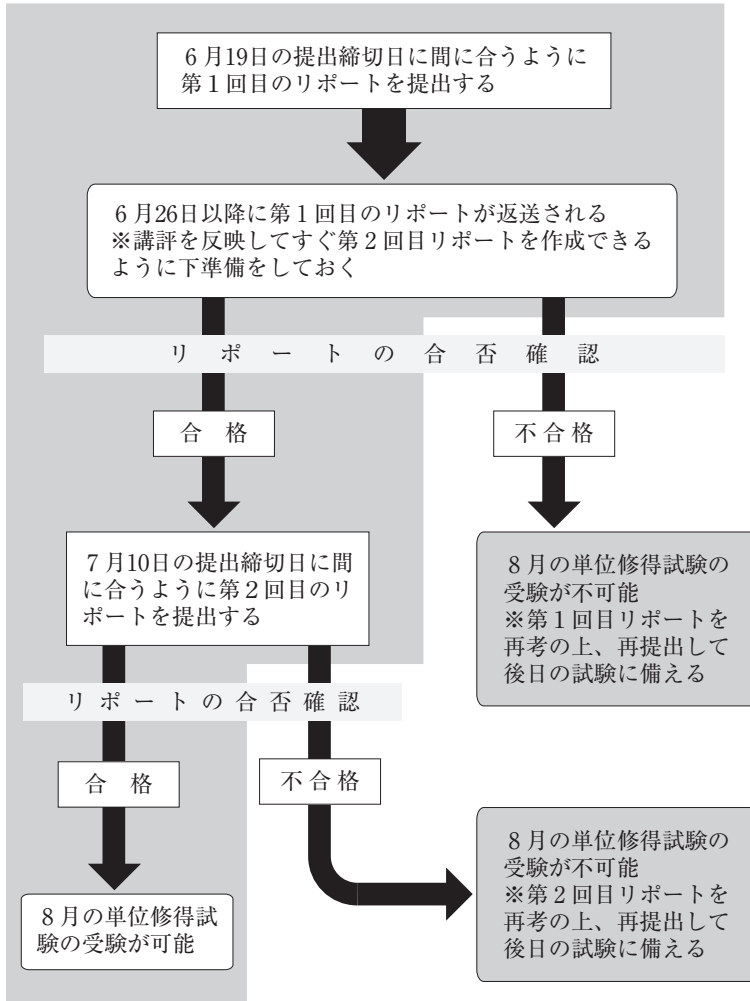
その点を考慮した上でリポートを提出してください。特に、同一科目で第1回目リポートの合格直後に第2回目リポート提出の際、上記のケースにより間に合わない可能性が多分にありますのでご注意ください。

リポート提出締切日(必着) (事務室受付期間)	事務室返送予定日	リポート提出締切日(必着) (事務室受付期間)	事務室返送予定日
H29.6.19(月) (H29.5.30~6.19)	H29.6.26(月)	H29.11.13(月) (H29.10.24~11.13)	H29.11.20(月)
H29.7.10(月) (H29.6.20~7.10)	H29.7.18(火)	H29.12.4(月) (H29.11.14~12.4)	H29.12.11(月)
H29.7.31(月) (H29.7.11~7.31)	H29.8.7(月)	H30.1.6(土) (H29.12.5~H30.1.6)	H30.1.12(金)
H29.8.21(月) (H29.8.1~8.21)	H29.8.28(月)	H30.1.22(月) (H30.1.7~1.22)	H30.1.29(月)
H29.9.11(月) (H29.8.22~9.11)	H29.9.19(火)	H30.2.13(火) (H30.2.23~2.13)	H30.2.20(火)
H29.10.2(月) (H29.9.12~10.2)	H29.10.10(火)	H30.3.5(月) (H30.2.14~3.5)	H30.3.12(月)
H29.10.23(月) (H29.10.3~10.23)	H29.10.30(月)	H30.3.26(月) (H30.3.6~3.26)	H30.4.2(月)

※事務室が閉室あるいは職員が不在の時に、リポートをカウンターの上や事務室前などに置いて帰っても当方では受付できません。もしそれに基づくトラブルが生じて、当方では一切責任を負えません。

掲 示 板

例) 平成29年 8月20日実施の単位修得試験で、4単位科目を受験するために、最短期間でレポートを提出する場合



※第1回・第2回のレポートを同時に提出することはできません。

掲 示 板

V. 学費の分納について（前期生対象）

前期生（4月入学）で平成29年度の学費分納者は、2回目の納付期限が平成29年7月31日（月）となっています。納付期限までに納付してください。

なお、納付金額など不明な点があれば、通信教育部事務室まで問い合わせてください。



キャンパス内全面禁煙

掲 示 板

Ⅵ. 単位修得試験（8月試験）の実施について

単位修得試験を次の要領で実施します。受験希望者は所定の手続きのうえ受験してください。

1. 試験日時

平成29年8月20日(日)10:00～16:00 (本学・学外試験場)

2. 場 所

- (1) 本 学
- (2) 学外試験場

札幌、福島、東京、富山、浜松、名古屋、和歌山、姫路、鳥取、岡山、
広島、高松、松山、高知、福岡、長崎、熊本、鹿児島 以上18試験場

3. 時 間 割

講時	時間	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名
1	10:00 ～ 11:40	0101	哲 学 (0100 哲学概論)	1202	経営管理論Ⅱ	8002	医療経営情報論
		0108	倫理学 (0107 倫理学概論)	1437	基本経済学Ⅱ	5029	教育原理Ⅰ
		0127	地理学 (0126 地域地理学)	1013	国際マーケティング論	5030	教育原理Ⅱ
		0206	現代憲法 (0203 現代憲法A)	1061	国際会計論	5013	同和教育論
		0204	現代憲法 B	1407	金融経済論	5060	教師論
		0320	心理学 (0319 心理学概論)	1439	財政学		
		1008	保険論Ⅱ	1625	税法		
		1056	原価計算論Ⅱ	1658	民法Ⅱ		
2	12:20 ～ 14:00	0201	経済と社会 (0200 経済学概論)	1005	流通政策Ⅱ	1657	民法Ⅰ
		0205	法と社会 (0202 法学概論)	1058	会計監査論Ⅱ	1667	商法Ⅰ
		0315	地球と宇宙の科学 (0314 地球の科学)	1059	税務会計論Ⅱ	8001	医学一般論
		0318	統計学 (0317 統計学概論)	1060	経営分析Ⅱ	5010	教育心理学
		0411	スポーツ科学論 (0409 生涯スポーツ論)	1009	商業数学	5001	特別活動
		1000	商業学Ⅱ	1203	経営統計学	5061	商業科教育法Ⅰ
1004	国際貿易論Ⅱ	1206	経営財務論	5062	商業科教育法Ⅱ		
3	14:20 ～ 16:00	0110	歴史学 (0109 歴史)	1003	マーケティング論Ⅱ	1668	商法Ⅱ
		0116	文学 (0115 文学概論)	1055	財務諸表論Ⅱ	8003	病院経営会計論
		0217	社会学 (0215 現代文化論)	1200	経営学Ⅱ	8004	福祉経営情報論
		0218	政治学 (0216 政治学概論)	1010	外国為替論	8005	医療福祉経営論
		0305	生物学 (0304 生命の科学)	1205	生産管理論	5002	教育方法学
		0326	物理学 (0325 現代物理学)	1210	経営組織論	5111	生徒指導の理論と方法 (5011 生徒指導の研究)
		0410	健康科学論 (0408 健康と運動)	1212	経営学史	5015	職業指導
		1002	流通論Ⅱ	1220	経営システム論	5071	進路指導概論

(注) 1. 各講時 (100分) において2科目まで受験できます。

2. 1科目の試験時間は50分間です。

3. 各講時内で1科目のみ受験する場合も、必ず開始時間までに試験場へ入場してください。

4. ・印の科目は教科書が変更されました。平成28年度以前に登録した者で、旧問題での受験希望者は受験申込時にその旨明記する必要があります。

掲 示 板

4. 試験問題

大阪学院大学通信教育部 HP (<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>)
より『開講科目一覧』をクリックし、更に『シラバス』をクリックして、
受験する科目の「講義要項(Syllabus)」を選べば問題が確認できます。

5. 試験範囲

次頁の「単位修得試験問題範囲番号表(8月試験)」を参照してください。

6. 受験資格

次の(1)~(3)を満たしていることが条件となります。

- (1) 学費を納付していること
- (2) 受験する科目を履修登録していること
- (3) 2単位科目はレポートが合格していること。また、4単位科目は第1回・第2回のレポートが合格していること。

7. 手続書類

- (1) 単位修得試験受験申込書(本誌巻末に添付)
- (2) 返信用封筒(宛名明記・82円切手貼付)

8. レポート提出締切日

平成29年7月10日(月)必着

9. 受験申込受付期間

平成29年7月24日(月)~7月28日(金)必着

掲 示 板

単位修得試験問題範囲番号表（8月試験）

試験日：平成29年8月20日（日）

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
哲学(哲学概論)	4:9:13	商業学Ⅱ	4:6:8	商業数学	3:9:14:21:26
倫理学(倫理学概論)	4:5:7	⑩商業学Ⅱ	2:7:12	外国為替論	4:5:6:7:8
歴史学(歴史)	2:6:7	流通論Ⅱ	2:7:14	国際マーケティング論	4:5:6:15:16
文学(文学概論)	3:10:15	マーケティング論Ⅱ	6:7:8	国際会計論	1:6:10:14:18
地理学(地域地理学)	4:13:15	国際貿易論Ⅱ	4:5:6	経営統計学	2:8:15:20:27
経済と社会(経済学概論)	3:4:5	流通政策Ⅱ	4:5:6	生産管理論	5:17:18:20:23
法と社会(法学概論)	4:5:6	保険論Ⅱ	1:3:14	経営財務論	6:7:8:9:10
現代憲法(現代憲法A)	2:8:15	財務諸表論Ⅱ	4:5:6	経営組織論	6:7:8:9:10
現代憲法B	7:9:12	原価計算論Ⅱ	5:6:7	経営学史	6:7:8:9:10
社会学(現代文化論)	5:7:8	会計監査論Ⅱ	3:6:7	経営システム論	2:6:11:14:24
政治学(政治学概論)	3:4:8	⑩会計監査論Ⅱ	2:7:13	金融経済論	8:9:10:12:14
生物学(生命の科学)	1:5:12	税務会計論Ⅱ	4:5:6	⑩金融経済論	8:10:11:12:13
地球と宇宙の科学(地球の科学)	1:5:9	経営分析Ⅱ	2:3:7	財政学	8:10:11:12:13
統計学(統計学概論)	2:6:11	経営学Ⅱ	4:5:6	税法	6:7:8:9:10
心理学(心理学概論)	4:6:10	経営管理論Ⅱ	5:7:8	民法Ⅰ	6:12:18:21:29
物理学(現代物理学)	2:6:10	基本経済学Ⅱ	6:7:8	民法Ⅱ	2:9:19:20:23
健康科学論(健康と運動)	2:5:9	医学一般	4:5:6	商法Ⅰ	2:4:6:8:10
スポーツ科学論(生涯スポーツ論)	2:7:12	医療経営情報論	2:11:13	商法Ⅱ	2:4:6:8:10
		病院経営会計	4:5:9	医療福祉経営論	2:12:17:23:28
		福祉経営情報論	3:5:8		

教職課程科目〔新課程〕

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
教師論	4:5:6	特別活動	4:5:6	職業指導	6:8:13:14:15
教育原理Ⅰ	5:7:8	教育方法学	5:6:8		
教育心理学	2:6:9	生徒指導の理論と実践(生徒指導の概論)	3:9:14		
教育原理Ⅱ	5:6:8	進路指導概論	4:5:6		
商業科教育法Ⅰ	4:5:6	同和教育	4:5:6		
商業科教育法Ⅱ	4:5:6				

注. 試験問題は、通信教育部ホームページよりシラバスを参照してください。授業科目の前に「⑩」のある場合は「シラバス2016」で確認してください。

各科目範囲番号より1題が出題されます。

※通信教育部ホームページを閲覧できる環境のない方につきましては、通信教育部事務室まで問い合わせてください。

掲 示 板

Ⅶ. 卒業生だより

平成29年3月18日に卒業された先輩方から、メッセージが届いております。勉学を続ける上でのご参考にしてください。

「卒業に際しての所感、これから通信教育部で学習される方へ」

斎藤 直樹

卒業を迎えられる喜びと共に、卒業までの間ご指導いただきました先生方、事務室の方々に本当に感謝いたします。ありがとうございました。思い返すとスクーリング授業がとても役に立ちました。先生方の授業がとても分かりやすく、時には商学の裏事情を教えて頂く事ができ、日々の生活上でも役に立ちました。そして在学中に学部の名称が「流通科学部」に変わり、商いというものが物やお金の流れ、流通であるという深い意味を教えて頂き、知りなかった商いの仕組みをより深く学び知る事ができました。卒業後に大学院などもっと学び研究したいと思うようになりました。

これから通信教育部で学習される方は、早めに通信で学習するための方法やコツを知ってほしいと思います。オリエンテーションや出席できるスクーリングは早めに出席して、先生に質問をしたり、学友から参考になる勉強方法を教えてもらったりすると、レポート作成にも役立ちます。

通信学習でみなさんが苦勞するのはレポート作成だと思います。私のやり方は、本当に基本的な方法で、まずレポートの課題の意味を理解します。それからその課題について知っている事や調べた事を思いついた時いつでもメモ書きしておきます。そうすると課題に関係した事柄が集まります。あとはそれらを利用して文章として論理的に組み立てることに繰り返しで乗り切りました。注意した事は読んで下さる先生が分かりやすいように文章を組み立てるようにしました。それとレポート課題の中には自分では手におえないものもありました。そういう時は質問をしたり、できる範囲で作成し提出して先生が指摘して下さる点に注意して再提出していました。いずれにしても、みなさんそれぞれのやり方やペースがあると思いますので、諦めずががんばって下さい。

さらに私は、モチベーションを保つために機関誌の表紙の裏にある本学創立者初代総長の白井種雄先生の碑と現総長の白井善康先生と通信教育部長の船本修三先生、そしてオリンピック金メダリスト高橋尚子先輩の写真立てを作って、いつも目にしては、偉大な先生や先輩が「あきらめず、がんばれ」と言っていると思っていました。

学習されるみなさんもそれぞれの目標達成まで諦めず頑張ってください。

掲 示 板

長野 俊弥

私は2009年4月に1年次入学し、この度ようやく卒業にこぎつけることができました。

3年次まではスクーリングで出逢った学友と情報交換しながら順調に進んでいたものの、途中数年間仕事が忙しくなりましたくりポートも進まずスクーリングにも出席できない状態が続きました。ようやく仕事も一段落し時間が作れるようになったところで一気に追い込みをかけ、無事卒業に必要な単位が修得できた次第です。途中で何度も挫けそうになりましたがなんとかここまで続けて来られたのは、機会を見つけては懇親を深めてきた学友と学業に理解を示し支えてくれた家族のおかげです。

通信教育は基本的に自らの意志で学習を進めていかななくてはなりません。通信教育で学びはじめると、スクーリングに出席した際通学して授業を受けられることの有難みが分かると思います。なぜならスクーリングは、学習する時間と環境が用意されているからです。こんな贅沢な話はありません。さらに分からない事はその場ですぐに質問することができます。それに対してリポートは自分で積極的に時間を作って学習しなければならず、質問もすぐに答えが返ってくるものではありません。

通信教育においては漫然と学習するのではなく、学習計画を立てながら進めていくことが大切です。スケジュール表や修得状況管理表などを作ると目標と現状が可視化されモチベーションを保つことができます。

リポートを作成する上でまず重要なのは、シラバスをよく読んで課題を理解することです。課題で何を求められているのか、テーマや論点は何かを考えながらテキストを読むことが肝要です。書き方は人によると思いますが、私の場合まずシラバスに書かれているキーワードを中心にテキストや参考書を読み、とりあえず論点にそって分量を気にせずひたすら書きました。その後で文章をそぎ落とし、推敲を重ねてリポートを仕上げていました。苦勞して書いたリポートが不合格だった時はずいぶんと落ち込むものですが、どこがいけなかったかを先生が添削して下さるのでまずは不合格を恐れずにとにかく書いて提出して頂ければと思います。

強い意志をもって学び続けなければならない厳しさが通信教育にはあります。そのかわり自ら進んで学んだことは、受動的に学んだことに比べて定着度が違います。一生の財産になります。これから通信教育部で学習される皆さんにはそのことを頭の片隅に置いて頑張ってもらえたら幸いです。

吉原 志楽

今年2月の平成28年度最後の試験でちょうど124単位を修得し、卒業することができました。2月の試験結果を待っている時はとても不安でした。結果通知書を見た瞬間、喜びよりも頭にうかんだのは、「本当なの、本当に卒

掲 示 板

業できたの」との思いでした。仕事と学業を両立させることは大変な事でしたが、諦めずに最後まで頑張って本当に良かったと思います。最初の一年間はレポートの書き方が分からなくて、どうやって学習すればいいのかもわからず、あつという間に過ぎました。結局、秋と冬のスクーリングの単位のみ修得しました。スクーリングに参加したことで、同じように苦悩している仲間と出会い、互いに交流しながら、徐々にレポートの書き方や学習計画の立て方が分かるようになりました。通信制の大学は基本的には、一人で孤独との戦いですが、やはり仲間との出会いも必要だと思いました。スクーリングは単に授業を受けるだけではなく、コミュニケーションの場でも有ります。しかし、レポートに合格しても試験に合格しなければ単位は修得できません。私にとって、試験前の準備が一番辛かったです。試験直前に熱が出たり、残業があったり、なかなか学習する時間がとれなくて大変でした。それをのり越えたことで、だんだんと自信が溢れてきて、単位を修得し、卒業という目標に向かってコツコツと学習を進めることができました。

無事卒業ができて本当に嬉しい限りです。ご指導を頂いた先生方、事務室の皆様、そして応援してくれた家族や職場の同僚のおかげだと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も貴重な経験を生かし、新しい目標に向かって努力していきたいと思います。知識を修得し、自分を充実させることは、いつから始めても遅くはありません。また学習する機会があったら、ほかの分野や専門にも再度チャレンジしたいと思います。

これから通信教育部で学習を始められる方にとってはレポートの作成は重要ですが、単位修得試験の準備も大変重要だと思います。試験の前には必ず余裕をもって準備した方が良い成績を取れると思います。そしてスクーリングも大切だと思います。仲間との交流は、自分一人で悩むより絶対に学習向上の効果があります。

最初の一年は大変だと思いますが、学習計画を立てればうまく進めていけるはずです。最後にこれから通信教育部で学習される皆さんも、仕事など忙しいと思いますが、諦めずに自分を信じて目標に向かって最後まで頑張って下さい。

中村 敦美

私は2012年に、商業の教員免許状を取得することを目的に2年次編入しました。子育て、仕事、家事、そして介護、妊娠と並行して行う学習は決して容易ではなく、つらいものでした。しかし、職場の理解や家族の支援を得ながら、無事に卒業を迎えることができ大変嬉しく、また大きな達成感を感じています。

できる限り早めの卒業を目指していた私が実践したことは、計画を立てそれを実現するべく必死に時間を作ることでした。つまり、1年間の試験受験計画を立て、レポートの提出期限を守ることです。決して無理な計画は立て

掲 示 板

ず、興味のある教科とない教科、持ち込み可と不可の教科など3～4教科ずつ受験する計画を立てました。しかしながら、計画ではゆっくりと学習できる予定でしたが、レポートの提出はいつもギリギリになってしまい、睡眠時間を削り、必死にレポート作成を行いました。「絶対に提出しなくてはならない」というプレッシャーを自分にかけることが、私には合っていたように思います。

また、レポート作成時にはテキストはもちろんですが、図書館の利用が大変役に立ちました。なかなか図書館へ行く時間が取れないとは思いますが、インターネットよりも本の方が、要点を読み取り易く参考になりました。そして、シラバスをしっかりと読むこと、メールなどの質問ツールを活用するのも良いと思います。レポートの出来に不安を感じることもあると思いますが、担当の先生にアドバイスを頂くつもりで、そのままレポートを提出してしまうことをお勧めします。とにかく書き始めること、提出することで、確実に合格、卒業に近づきます。

そして、スクーリングでの学習はとても有意義な時間でした。毎日通うのは大変でしたが、レポート科目と違い対面での授業は理解しやすく楽しい時間でした。また、先生にレポートについて直接質問することや、同じように勉強されている方と話すことができる良い機会で、モチベーションも上がり、とても刺激を受けました。たくさんの良き出会いに感謝しています。

やっと卒業ですが、これで教員免許状を手にし、やっとスタートラインに立てたと思います。この学生期間を通して、様々な知識や人生観を学びました。一般の通学課程で大学を卒業された方とは違うこの経験は、自分の誇りにそして自信になりました。これからは、お世話になった方々に成長という形でご恩返しできるよう精進し続けたいと思います。

最後になりましたが、教員の皆様のご指導や、事務室の方々の親切丁寧なサポートのおかげで学習を継続することができました。心より感謝致します。

丸山 妙子

私は2013年4月に1年次生として学士取得目的で本学に入学し、4年で卒業することができました。今春、卒業を迎えることができましたのも、ご指導いただいた先生方、事務室の方々、大学で知り合った方々のお蔭であると深く感謝を申し上げます。

4年前、私は「目標達成のためにはプロセスが大事である」と信条をもち、仕事中心の日常生活の中、大学生活の目標を「必ず4年で卒業する」ことにおき、空いている時間は学習すると優先順位を決め、常に学習できる環境を築きながら乗り越えてきました。少しの時間でも学習にあててきたことによって4年で卒業することができたと実感しています。

しかし、1年次の夏までは毎月届く機関誌を読むだけで、どのように学習

掲 示 板

すればよいか分かりませんでした。スクーリングの際に先輩方や同期の方に学習の進め方を伺い参考にし、レポートを書いて提出する、先生の講評を読む、合格であれば単位修得試験勉強をする。否であれば先生の講評を参考にし、再度レポートを書いて提出する。この学習の進め方を繰り返していくと、次第に科目にもよりますがレポートを書く時間が短縮され、要領もつかむことができました。また、先生の講評を読むことや問題が解けたとき、レポート結果や試験結果が届くことなどが楽しみになってきました。

スクーリングでは幅広い年代の方々が、それぞれの目標に向かって学んでいる姿に刺激を受け、一緒に受講できたこともよい経験になりました。

私は既述の通り、4年で卒業するという目標を達成したこともさることながら、計画を立て優先順位を明確にすることが今まで以上に身につき日常生活で役立っています。そればかりでなく、大学生活は私にとって色んな方との出会い、学習したことが仕事でも活かすことができ、とても充実し、得るものが大きかった4年間でした。

これから通信教育部で学習される方へ、大半の方は仕事と学習を両立され、時間の確保が難しいと思いますが、学習をするもしないも本人次第です。大学卒業を目指すにあたって、目標に向かって無理のない計画を立て優先順位を明確に決め、諦めず、強い意志を持ち続けてください。まずは、レポートを書いて提出することから始めてください。自ずと学習の進め方、そして、大学卒業が近づいてきます。

宮内 武昭

私は、昭和46年に、まだ現役時代に大阪学院大学短期大学に入学しました。卒業後も、何か満ち足りない部分があり、昭和48年4月近畿大学法学部に入学できましたが、家庭の事情もあり、毎日の通学が困難となり、退学せざるを得ませんでした。その後も神戸市役所を退職するまで学業を続行することが脳裏に残り、仕事を再度続けるには、経理関係、また福祉事業を実現できたらと、検討した結果、平成25年4月に大阪学院大学通信教育部の3年に編入学し、会計学、その他の教科に取り組みました。我が国も超高齢化社会、少子化問題をかかえて、この険しい時代をどのように乗り越えるのだろうか。私は、今まで福祉事業所で勤務してきました。事業所を必要とする利用者には両親もなく、知的障がい、精神障がい者が利用するためのグループホーム設立するためには、期間はありません。例えば、若き日のゲーテは偉大な夢を持ち、「学問するには年齢は関係ないと語っています。」また自らの教養を高めるために、あるいは利用者のためにも貢献できるよう努力できたらと思います。私は、大阪学院大学の通信教育部に編入学し、どこで間違ってしまったのか2年で卒業する予定が延長し、少し学習不足ではありますが、

掲 示 板

卒業後も福祉関係の職業を持ちながらも、研修とあらゆる情報を得ながら人生を歩んでいきたいと思っています。

今まで御指導して下さった事務室の職員の皆様方、通信教育部長、諸先生方ありがとうございます。大阪学院大学のますますのご発展を心から願っております。ありがとうございました。

「これから通信教育部で学習される方へ」

通信教育部で学習される皆さんにとって、限られた時間で学習を進めていくための努力は非常に重要です。1点目はレポートの作成です。私の場合は明石市立図書館に週2回程度通って参考書を借りて学習に打ち込みました。2点目は早々に雑読、話しやすい友をつくり、情報を交換するのも必要です。それぞれが持っている知識やアドバイスも必要かと思われます。3点目は提出したレポートが不合格で返却された場合は、再度、教科書又は参考書を利用して追究することです。4点目はサブノートを作成し学習をすすめることも大切かと思われます。

以上で私が学習したことについて述べましたが参考にしていただけたら幸いです。それぞれの仕事を持って学習することは大変なことだと思いますが単位修得までは、途中で諦めないで、せっかくの学生生活、喜びと楽しみをみつけてほしいと思います。

寺本 優子

私は、大学卒業資格取得および経営関係の勉強をしたいと思い3年次編入学をしました。

仕事をしながら学習を進めていくにあたり、最初は学習方法や手続きに戸惑いましたが、慣れてくるもので失敗することも多々ありましたが、なんとか単位を修得することができるようになりました。

レポート学習は、先生から課された書籍を読み、理解し、課題をこなしていきます。

一人で学習をしていくため、なかなか理解できない時は参考資料やインターネットで調べ、少しずつ理解することができました。

再提出の際は、先生の添削でどのようにまとめていったほうがいいのかを説明して頂いたので大変勉強になりました。

また、調べて理解することはとても有意義でした。

スクーリング学習は先生方に直接指導して頂けるため、とても理解しやすかったです。

最初は理解できるのか心配でしたが、徐々にステップアップする体制やレベルに合わせた内容だったので、心配はなくなりました。

6日間、濃密な内容で知識を吸収することができました。

特に授業を組まれる際は先生にご教示頂けるスクーリングをお勧めします。

掲 示 板

大阪学院大学では病院の経営関係を学べる授業があります。

病院は非営利団体ではありませんが、より良い医療を末永く提供するにあたり、経営を考える必要もあります。

会社でもそうですが、簿記や会計、法律、経営を知ることは後々、管理職になるにつれ必要です。

通信教育部で学ぶことにより、組織の成り立ちを学ぶことができました。

次のステップのために今後も経験を積みながら、勉強を続けていきたいと思えます。

これから、学習される方へ通信教育は時間を考慮できる勉強の場です。

色々な事情で挫折を味わうこともあると思いますが、焦ることはないと思えます。

無理せず、ゆっくり勉強を頑張ってください。

最後にお世話になりました先生方、事務職員の皆様、心から感謝、御礼を申し上げます。

橋本 晃一

大阪学院大学で2年間学び、無事卒業をむかえる事ができたことをとてもうれしく思っております。時がたつのは、早かったような遅かったような、いずれにしても充実した日々だったと、ふり返って感じています。

短大卒で編入学し、大学卒業資格の取得が目的でした。スクーリングには自宅から通いました。実務に必要な会計やマーケティング、貿易や民法・商法などの科目がとても充実していることが大阪学院大学を志望した動機です。

しかし、仕事や私生活において、さまざまな興味をひかれる事があり、3年次にあまり単位が取れず、4年次になってあせって学習し、不安をかかえながらも少し余裕がある状態で学習を進める事ができたと思っています。編入学で5月に入学手続きをしたため、3年次の夏期スクーリングに参加できませんでした。また、毎月送られて来る機関誌についても、細かなところは読んでいなかったため、科目のⅠとⅡはセットで申請しないとイケない事をしらず、予定どおり学習を進める事ができませんでした。3年次終了時点で16単位ほどの修得状況でした。仕事をしながら、また、語学などを学びながら、大学の単位修得のためはかなりがんばったものだと自分でも思います。

プレッシャーがあった方が、やる気になるかもしれませんが、私の場合、卒業できたのか不安でしたし、レポートや試験で合格がもらえるのかもかなり不安でした。そして、それらの逃避から、語学や他の資格の勉強などをしたかったのかもありません。しかしそれもなかなか手につかず、もっと早く入学し、3年次にもっと余裕をもって単位を修得しておけばよかったと後悔しました。通信教育部で学ばれる方々には、予定をかなり早めに立てる事や、スクーリングも、かなり早い段階で計画を立てておく事、そしてレポートも、申請した科目のものはすべて早めにまとめて書いてしまうという事をアドバ

掲 示 板

イスしたいと思います。ただ実践的な分野が多いですので、紙の上の事だけではなく、現実的に社会の中で役に立つように、ある程度理解して行く必要もあり、単位修得にあせる部分もあると思いますが、大学以外の講座や書籍なども参照しながら、余裕を持って理解する事をおすすめします。

独学では理解する事が難しかったであろう科目も、スクーリングなどによって理解が深まり、「そうだったのか」などと思えるような発見がありました。

大学院に進学予定ですが、現在の仕事の中でも社会に役立つよう、勉学も含め活動を行っていきたいと思います。

ありがとうございました。

吉永 輝穂

「卒業に際しての所感」

私は、理学療法士というリハビリテーションに関わる資格を取得するため、30歳を過ぎて専門学校に入学しました。

その専門学校の卒業単位を使い、大学の単位とを合わせて大学卒業単位をとる制度を利用して卒業を目指してきました。

専門学校を就学中に通信教育を始めて専門職への学習と並行して大学卒業を目指して通信教育を続けてきましたが、どうしても仕事に結びつく専門学校での学習を優先してしまい大学の学習は後回しとなり、なかなかレポートが提出できないときもありました。

また、大学での学習は専門学校とは全く違う分野の学習のため、取っつきにくく、理解するのに時間がかかったりしました。

そのようなときには、先生の方や同じように通信で学習している仲間に関わりたりして学習を進めてきました。

先に専門学校を卒業し障がい者施設で理学療法士として働き始め、その後大学単位を少しずつ取りながら卒業に必要な単位をすべて取る事ができました。

専門学校のときは、簿記や会計、税法などの教科は仕事に関係してないと感じながら学習していましたが、実際に仕事に就くと施設の運営に関わることであり経営状況の把握や税に関することで非常に役立っています。

「これから通信教育部で学習される方へ」

通信で学習されている方には専門的な知識をつけるために本格的に学習されている方、大学卒業資格取得を目的に学習されている方など理由はそれぞれで、年齢も仕事もそれぞれだと思います。

通信教育での学習で一番困ることは、理解できないことや、わからないことを相談や質問をする相手が限られてくることです。質問もいつでも出来るわけでもないため、レポートが行き詰ったりすることがあるかもしれません。

掲 示 板

一人で学習すると自分勝手な解釈や思い込みをしてしまいがちです。

そんなとき仲間の存在に支えられました。仲間と出会う一番良い機会がスクーリングだと思います。

スクーリングで何日か同じ講義を受けていると講義内容の話から、他の会話へと自然に仲間ができてきます。

自宅学習で行き詰ってしまったときにアドバイスをもらったり、質問したりと学習を進める上で非常に助かりました。

最後になりましたが、御指導頂きました先生方、事務室の皆様、大変お世話になりありがとうございました。

掲 示 板

Ⅷ. 行事予定 (6月)

日	月	火	水	木	金	土
				1 日本学生支援 機構奨学金 出願書類請求 締切日	2 創立記念日 事務休日	3
4 事務休日	5	6	7	8	9	10
11 事務休日	12 夏期スクーリング 受講申込受付 開始(至6月23日)	13	14	15	16	17
18 単位修得試験 (本学・学外)	19	20	21	22	23	24
					→	
25 事務休日	26	27	28	29	30	

掲 示 板

Ⅷ. 行事予定 (7月)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 夏期スクーリング 振込証明書 提出期日 [教職実践演習(高)] 受講申込締切日 事務休日	4	5	6	7	8
9	10 事務休日	11	12	13	14	15
16	17 海の日 事務休日	18	19	20	21	22
23	24 8月単位修得 試験受験申込 受付開始 (至7月28日) 事務休日	25	26	27	28	29 夏期(第Ⅰ期) スクーリング開始 [教職実践演習 (高)]講義開始
30	31 → →					